



4/26 ものづくり人材育成の拠点が完成 いわて半導体関連人材育成施設開所式

いわて半導体関連人材育成施設（愛称：i-SPARK）が完成し、開所式が行われました。いわて産業振興センターの佐々木淳理事長は「持続可能な地域経済の発展に向けた新たな一手。北上エリアが半導体産業の一角を担う重要な役割を果たしていくものと確信している」とあいさつしました。

同施設は産学官の連携による取り組みで開設されたもので、人材育成や体験型魅力発信の役割を担います。



5/5 思い思いの鬼を制作 こどもの日わくわくイベント

こどもの日わくわくイベントは、鬼の館で行われ、多くの来場者でにぎわいました。

鬼剣舞と紙面の色付け、鬼の秘密を探れるクイズラリーなど、楽しい催し物を開催。フェルト鬼づくりでは個性豊かな作品が出来上がりました。

参加した門脇陽菜さん（南小6年）は「展示を見たり、作品を作ったりしてすごく楽しかった」とうれしそうに話していました。

4/26 花魁道中華やかに 第3回春の諏訪町祭り～花魁道中～

春の諏訪町祭り（チーム諏訪町、黒沢尻歌舞伎保存会共催）は、諏訪町商店街や名店街一帯などで開かれました。目玉の催し「おいら道中桜絵巻」では、華やかな衣装をまとった一行が展勝地桜並木や諏訪神社、江釣子ショッピングセンター・パルを練り歩き、あでやかな立ち振る舞いで観客を魅了しました。

大場妙子さん（宮城県）は「ここで見られない光景でとてもきれいだった」とうっとりしていました。



5/3-6 伝統をつなぐ幻想的な光 口内傘ライトアップ

夜の古民家を彩る口内傘ライトアップ（口内町自治協議会主催）は、みちのく民俗村で開催されました。

同協議会の口内傘研究講座で製作された和傘のほか、市内の職人による竹灯籠などの柔らかな光が、来場者を幻想的な世界へといざないました。

当時の口内傘を知る菅野征支朗さん（口内町・83歳）は「懐かしい気持ちになった。ライトアップは雰囲気があっていい」と感慨深げに話していました。



まちの話題

市内の話題を紹介

4/29 士気と団結力が光る訓練披露 令和7年北上市消防演習

令和7年北上市消防演習は、展勝地公園と北上川左岸河川敷で行われました。市消防団員や市婦人消防協力隊員など約700人が参加し、日頃の鍛錬の成果を披露しました。

観閲と点検に続き、部隊訓練が行われ、団員たちは緊張感ある中で息の合った動きを見せました。放水訓練では、64台の消防車が一列に並び一斉に放水。色とりどりの水が空に舞い上がると、観覧者から歓声が上がっていました。



閉会式で県消防学校の藤村信也副校長は「日頃の消防技術の錬磨が十二分に発揮されており、極めて優秀」と講評。市消防団の高橋信博団長は「消防の使命達成のため鍛錬する」と決意を述べていました。



4/8 北上市での試合開催をPR 釜石シーウェイブス表敬訪問

釜石シーウェイブスの関係者らは、市本庁舎を訪れ、NTTジャパンラグビーリーグワン2024-25の北上市初開催をPRしました。

桜庭吉彦ゼネラルマネージャーは「ラグビーを生で観戦し、迫力を感じてほしい」と話していました。

同リーグは昨年12月から本年5月まで行われており、全14試合中2試合がウエスタンデジタルスタジアムきたかみで行われました。



4/15 16年ぶりに北上市で大会を開催 ボールルームダンス連盟表敬訪問

岩手県ボールルームダンス連盟の関係者らは、市本庁舎を訪れ、2025年前期全岩手ダンス選手権大会の開催をPRしました。

ボールルームダンス（社交ダンス）は、ワルツやタンゴなどの音楽に合わせて2人1組で踊るのが特徴。立ち姿や表現力など、総合的な美しさが審査されます。

丸市憲行会長は「この機会にボールルームダンスの魅力に触れてほしい」と呼びかけていました。

